



■焼却灰一時保管場所の行方■ 二回目の住民説明会

高濃度放射線物質（8,000 ベクレル／^{kg}超）を含む焼却灰の一時保管問題で、千葉県は9月18日夜、保管場所の建設を予定している手賀沼流域下水道手賀沼終末処理場の周辺地元を対象とした二回目の説明会を布佐南小の体育館で行ないました。説明会は、午後6時半から休憩なしの約4時間にわたって行われました。地元の一人として参加した私も含め140名を超える住民からは、自然災害があった場合、絶対に安全とは言えない県の保管計画に不安の声が相次ぎ、白紙撤回を求める住民の声で説明会は終始しました。

しかも、千葉県は、この説明会の当日（9/18）、建築確認の関係書類を、条例で窓口と定めた印西市を通さず、県印旛土木事務所（佐倉）に直接出していました。この地元説明会が何のために開かれているのか、アリバイづくりのための説明会なのか、強引な千葉県のやり方に多くの市民は今、不信感を強めています。

暴挙とも言える千葉県の行動



その後、県土木事務所は異例の速さで建築確認済証を交付し、千葉県は、9月21日（金）我孫子市議会開催中に突然、工事着手した旨の通知一枚を市に送り届けるなど、説明会や条例による手続きを無視した、暴挙ともいえる行動に出ました。手賀沼終末処理場（印西・我孫子市境）に一時保管施設を建設するには地元自治体に建設許可申請を提出、建築確認の手続きを行う必要があります。今回、建築確認の受理権限を持つ、印西市を通すことなく、千葉県が勝手に建築確認手続きを行ったことは、まさに「条例違反」となります。千葉県の担当部長も条例違反を認めています。千葉県は都市計画法第65条の申請をしないうえ、建築確認申請では審査権を持つ千葉県自らが「条例違反」を犯すなど、法令遵守すべき千葉県自身が、今、考えられない行動に出ています。

私たち、我孫子市議会は全員でこの問題に立ち向かい、市民の皆さんに説明責任を持つ市議会として取り組んでいく覚悟です。市民の皆さんの力強いご支援とご協力をお願いします。

◆#####

****『あびこ未来会議』開催のお知らせ****

我孫子市議会の会派（グループ）「あびこ未来」（印南 宏代表、早川真、坂巻宗男、飯塚まこと）では、第3回「あびこ未来会議」（市政懇談会）を下記のごとく開催します。

今回も多くの方々のご参加をお待ちしております。（予約の必要はありません。どうぞお気軽にご参加をお願いします。）

緊急テーマ：我孫子市の放射能対策・高濃度焼却灰一時保管問題
日時：10月6日（土）午後6時30分～ 於：布佐南近隣センター

♥#####

現場主義

ほっと Communication

印南 宏後援会 会報
2012.9.26 No.56

盛り上がり欠けた党首選

暑さ寒さも彼岸までの言葉の通り、やっと酷暑の夏から本格的な秋へと季節は移りつつあります。東日本大震災から一年半が過ぎました。9月10日現在、死者は1万5,870人、行方不明は2,814人にもものぼり、岩手、宮城、福島3県などの被災者約34万人が、いまだに仮設住宅や借り上げ住宅で避難生活を強いられています。長期化する避難生活は被災者の心身ともに苦境へと追い込んでいます。

そんな中、政界では民主、自民の二大政党はダブル党首選を繰り広げました。国民からみると「盛り上がり」に欠けた党首選となってしまいました。「近いうち」とされる衆議院解散、総選挙をにらんだ「選挙の顔」あるいは「次期首相候補」選びにすれば、大変白けたトップ選びとなってしまったのは何故でしょうか。政治に対する信頼や期待が大きく損なわれる中、サラリーマンの定期人事異動を思わせる党首選はとても残念でなりません。私たちの国、日本の将来を託すべきリーダー選び、国民の熱気と候補者が一体となった党首選が出来る日は、今後、日本に来るのでしょうか。

安全と安心な暮らしを守る施策

私たちの街「我孫子市」は大震災の復興事業として「液状化対策検討委員会」を設置して、地盤解析調査を行い、大規模地震による被害規模の想定や布佐東部地区に適した液状化対策工法の検討をおこなう「液状化対策計画」を9月から着手し、年度内に策定していく予定です。

焼却灰の処理では、剪定枝木や草などの分別回収によって放射能濃度を下げるとともに、クリーンセンターの焼却灰を主灰（燃えガラ）と飛灰（バグフィルタなどの集塵装置で捕集された固形物）に分けて処理しています。飛灰は国の基準（1kgあたり8,000ベクレル）を安定的に下回ってきており、搬入先の自治体や事業者と受け入れ交渉を行っています。引き続き、分別の徹底を図り放射能濃度の低減に努めていきます。

その他、小中学校の校庭や校舎周りの除染（8月末に終了）、公園、戸建て住宅や集合住宅の除染、食品や飲み物等の検査など、放射能対策をこれまで以上に強化するために「我孫子市放射能対策総合計画」を8月23日に策定しました。計画の目的を達成するまで、放射能対策を継続して実施し、市民の健康と安全で安心な暮らしを守っていきます。

9月議会報告

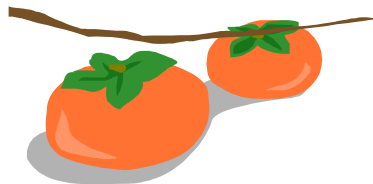
9月議会に提出された議案は23件。主な議案は①火災予防条例の一部を改正する条例の制定 ②工事請負契約の締結（久寺家ポンプ162百万、若松ポンプ場改修工事141百万、若松配水管工事225百万）③布佐ポンプ場築造工事の契約変更（817百万⇒1016百万（199百万の増））④市道路認定（4路線）⑤平成24年度一般会計補正予算（11億56百万追加し、総予算を364億41百万に）⑥平成23年度一般会計決算の認定・他特別会計の認定（継続審査）などです。

主な争点は、次の通りです。一つは、布佐ポンプ場築造工事で約2億円増の大幅な予算修正を行うことになった（上記③）理由についてで、設計段階より軟弱地盤の予測の甘さに加えて、議案可決まえに既に工事着手しているなど新たな事実が判明したことで、所管の常任委員会でも否決されました。二つ目には、高濃度放射線量を含む焼却灰一時保管場所に関してで、後述するように、千葉県が条例違反をしてまで異例の工事着手に踏み切ったことへの市と市議会の対応策が争点となりました。

また、請願関係では、「機能性低血糖症」に係わる国の取り組みを求める請願、「東海第二原子力発電所の廃炉を求める意見書提出」の請願、「東海第二原発の廃炉を求める意見書提出」を求める請願が、全会一致で可決されました。

その他、以下の計画が市議会に提出されています。

- ◎「我孫子市放射能対策総合計画」（平成24年9月～平成26年3月）
この計画は「我孫子市放射性物質除染実施計画」を包含するとともに、各分野で取り組んでいる放射能対策を総合的・計画的に推進し、我孫子市の放射能対策を強化するために策定されました。
- ◎「我孫子市立小中学校通学区域見直し実施計画」（根戸小・第四小・新木小・久寺家中のそれぞれの通学区域の一部見直し）
この計画は生徒数の増加による教室不足や児童数・学級数の減少という課題に対処するため、通学区域の変更にあたってのスケジュールや変更内容の詳細を明らかにしたものです。



宏と語る小さな小さな ティーパーティー開催中！

お気軽にお電話下さい。
行政相談もこちらへ！
ご意見をお待ちしています。

いんなみ ひろし
印南 宏

後援会事務局 7184-2860
自宅 7189-1598
住所 我孫子市布佐平和台 7-1-18
ブログ <http://hiroshi4649.at.webry.info/>
E-MAIL innami@mqd.biglobe.ne.jp



印南 宏が9月議会、「総務企画常任委員会・予算審査特別委員会」で質問した骨子

私は総務企画常任委員会・予算審査特別委員会において、以下に関する質問と提言等を行いました。詳細は議会だより、HP等をご覧ください。

【総務企画常任委員会】

- 人口減少問題と対応策について
 - ・庁内検討委員会のあり方
 - ・千葉県人口動態分析検討会議の活用
- 新たな文化会館の整備促進
 - ・我孫子市文化施設整備庁内検討委員会
 - ・整備手法と財源
 - ・新たな視点「にぎわい」と文化会館
- 空き家の適正管理について
 - ・徹底した実態調査の必要性
 - ・条例化の道
- 根戸で発生した火災について
 - ・市境の消防のあり方
 - ・普段の点検作業
 - ・再発防止策
- 地域防災計画と防災訓練
 - ・平和台自治会の総合防災訓練
 - ・我孫子市の総合訓練のあり方
 - ・地域防災計画の進捗



【予算審査特別委員会】

- 新しく始まる「不活化ポリオワクチン接種事業」について
 - ・正確な知識の情報提供
 - ・国の補助をもらう努力を
 - ・委託料の算出根拠
- じん芥処理放射能対策
 - ・飛灰の委託のあり方
 - ・焼却灰の安定的な処理について
- 文化施設整備基金について
 - ・目標基金額
 - ・具体的な整備スケジュールを確定せよ！
- 清掃工場建設基金について
 - ・柏市、我孫子市一般廃棄物広域処理研究会の進捗度
 - ・計画的な基金積立の実施
- 戸建て・集合住宅除染業務委託
 - ・委託料の内訳と業務内容
 - ・第三次除染対象（中学生以上）について



『住んでよかった』そして『住んでみたい』と言われる街に